

守口学童保育



共立メンテナンスによる 不当解雇を許さず

組合員10人の解雇撤回と職場復帰を 勝ち取るまで がんばります!



50数年前から続く公設公営の「もりぐち児童クラブ」(学童保育)の運営について、守口市が2019年4月から(株)共立メンテナンスに業務委託。しかし、一方的な運営方針の変更や、改善案を示した指導員労組との団体交渉を拒否。大阪府労働委員会が不当労働行為と断罪しましたが、共立メンテナンスは中央労働委員会に再審査を申立てました。

さらに、新型コロナ対応で子どもたちの命と安全を守る学童保育の重要な役割が高まるも、2020年3月末に指導員13人を解雇しました。

こうした暴挙に対し、指導員労組の組合員10人が原告となり、5月15日に大阪地裁に提訴し、支援共闘会議として断固たたかいます。

※共立メンテナンスは、ホテル「ドリーミン」や旅館「癒しの湯宿」等を経営。その他、公共サービス受託事業などを全国展開しています。しかし、会社に労働組合はありません。

守口学童指導員の不当解雇撤回と職場復帰をめざす支援共闘会議

大阪自治労連／大阪労連／守口学童保育指導員労組